

ネイティブ豚グルタミン酸-オキサロ酢酸トランスアミナーゼ

Cat. No. NATE-0312

Lot. No. (See product label)

はじめに

[明]

アスパラギン酸トランスアミナーゼ(AST)またはアスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ、別名AspAT/ASAT/AATまたは血清グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ(SGOT)は、ピリドキサールリン酸(PLP)依存性のトランスアミナーゼ酵素(EC 2.6.1.1)です。ASTはアスパラギン酸とグルタミン酸の間で α -アミノ基の可逆的な移動を触媒し、そのためアミノ酸代謝において重要な酵素です。ASTは肝臓、心臓、骨格筋、腎臓、脳、赤血球に存在します。血清ASTレベル、血清ALT(アラニンアミノトランスフェラーゼ)レベル、およびその比率(AST/ALT比)は、肝臓の健康のバイオマーカーとして臨床的に一般的に測定されます。これらの Π 口は血液パネルの一部です。

別名

EC 2.6.1.1; グルタミン酸-オキサロ酢酸トランスアミナーゼ; グルタミン酸-アスパラギン酸トランスアミナーゼ; トランスアミナーゼ A; AAT; AspT; 2-オキソグルタル酸-グルタミン酸アミノトランスフェラーゼ; アスパラギン酸 α -ケトグルタル酸トランスアミナーゼ; アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; アスパラギン酸-2-オキソグルタル酸トランスアミナーゼ; アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; アスパラギルアミノトランスフェラーゼ; グルタミン酸-オキサロ酢酸アミノトランスフェラーゼ; グルタミン酸-オキサロ酢酸アミノトランスフェラーゼ; グルタミン酸-オキサロ酢酸トランスアミナーゼ; グルタミン酸オキサリックトランスアミナーゼ; グルタミン酸・オキサロ酢酸トランスアミナーゼ; グルタミン酸オキサリックトランスアミナーゼ; GOT (酵素); L-アスパラギン酸トランスアミナーゼ; L-アスパラギン酸-2-ケトグルタル酸アミノトランスフェラーゼ; L-アスパラギン酸-2-オキソグルタル酸-トランスアミナーゼ; L-アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; オキサロ酢酸-アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; オキサロ酢酸トランスフェラーゼ; アスパラギン酸:2-オキソグルタル酸アミノトランスフェラーゼ; アスパラギン酸:2-オキソグルタル酸アミノトランスフェラーゼ; グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ; 9000-97-9

製品情報

種

由来 豚の心臓

形態 - 硫酸アンモニウム懸濁液; 0.05 M マレートおよび 2.5 mM α-ケトグルタル酸を含む 3.0 M

(NH4)2SO4 の懸濁液、pH 6.0

EC番号 EC 2.6.1.1

*CAS*登□番号 9000-97-9

活性 200-500 ユニット/mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、L-アスパラギン酸の存在下で、pH 7.5、37°Cで1分あたり1.0 μmoleのα-ケト

グルタル酸をL-グルタミン酸に∏換します。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C